



第3回
冬の日本海に新年の願いを叫ぶコンテスト
出場者募集!

新しい年に託す願いを、荒波くだけの厳冬の海に向かって叫んでみませんか。皆さんの思いのほとばしりを、「絶叫度」「切実さ」「表現力」などにより審査させていただきます。優勝者には地元海産物を贈呈!

開催日 1月29日(土)
午後2時集合 3時開始
会場 外海府・願集落海岸
参加費 無料
主催 佐渡國しま海道
お申し込み
☎63-3380 (十文字)



よ ちゃや
小さな道の駅「寄れっ茶屋」

旅の途中でちょっと道を尋ねたり、トイレを借りたり…。そんな「小さな道の駅」が島のあちこちにあると良いのでは…。佐渡國しま海道では、そうしたささやかなおもてなしの場所を「寄れっ茶屋」と名付けました。



「寄れっ茶屋」はこの「のぼり」が目印です。

気軽にお立ち寄りください。

「寄れっ茶屋」に登録を希望される方はお問い合わせください。

お問い合わせ

- ・佐渡國しま海道事務局
☎050-1371-6316
(岩立)
- ・市役所建設課
☎63-5118

第12回大新潟展・佐渡の祭 鬼太鼓出演

菊かおる秋の日、去る平成22年10月28日から11月2日まで、横浜市港南区の上大岡 京急百貨店で2010大新潟展が開催された。観光物産展に先だつ10月27日には長岡市のミス雪娘と佐渡鬼太鼓演奏者によるプレス周りが行われ、開催期間中は佐渡・立野地区の鬼太鼓用具が正面入口に展示された。その様子は地元のマスコミに大きく採りあげられ、また、大新潟展開催をお知らせする「KEIKYU News」が、横浜市内並びに三浦半島地域に約30万部配信され、併せて横浜地域の方々に広くPRされた。催事場の“横浜家族の店”には新潟市、長岡市、等から71店が出店。佐渡市からは北雪酒造、尾畑酒造、佐渡本舗、早助屋、玉堂窯元、プチドール、佐渡乳業が出店し、多くの顧客の好評を博した。

台風14号接近中の10月30日には、大新潟展のスペシャルイベントとして、“おんでこ首都圏会”の皆様による“佐渡鬼太鼓”演舞が午後1時、3時、5時の3回にわたって行われた。台風の雨の中にもかかわらず大変多くの参加者に強い印象を与えた。演舞に先立ち、佐渡の鬼太鼓は120の地域で演じられていることが紹介された。その佐渡へは長岡・寺泊からの船で渡るPRも“長岡市ミス雪娘”から行われ、新潟・佐渡の観光案内に大きく貢献した。

(文責：佐渡市東京事務所 榎谷端夫)



おんでこ首都圏会演舞(写真左)と立野鬼太鼓展示(写真右)

来年度の離島予算陳情に駆け回りましたが、国には財政問題はあるにせよ、政権交代後の離島対策については方向性が見えないというのが離島住民の本音です。当初約束され期待していた根本的な離島への対応が明示されないことには、全国422の離島住民の決定的な不信を招くこととなります。

年末を迎え佐渡市も合併以来7年目、そろそろ仕上げの局面を迎えます。多くの有用資源を持ちながら、交流人口増や産業振興につながらない現況に反省しきりです。反面、生物多様性実現をめざす代表的な島として、10月に名古屋で開催されたCOP10(生物多様性条約第10回締約国会議)で佐渡の環境と経済の連携が紹介されたことで佐渡の取組みに自信と光明を見出し、さらに魅力ある自然の数々、世界遺産や伝統文化などの活用で島を活性化する明るい新年を迎えたいと思います。

気象の激変ばかりではなく、国も大変な時代を迎えています。新興諸国の台頭による世界経済の新たなせめぎ合いの中で、わが国に襲い掛かる領土問題や、TPP(環太平洋パートナーシップ協定)の決断に追い込まれるわが国が食料自給率を支える一次産業を守りきれるのかどうか、国民は息を呑んで見つめています。特にTPPについては影響を受ける産業に対する明確な対策を示さないままに加入を強行すれば、混乱の度を深めるだけです。

夏には今までにない酷暑、秋には短い周期で低気圧が通り過ぎ、小春日和を思わせるかと思えば急に時化て、やはり今年の海水温の高さが影響しているのでしょうか、遠くの景色も霞むこの季節に珍しい黄砂現象も起きました。

随想

ゆめ飛行 No.50

佐渡市長 高野宏一郎

(題字 高野宏一郎)

